



在日大韓基督教会
宣教110～120周年
標語
共に生きる
いのちの天幕を
広げよう

1963年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月一日発行)

2024年8月1日 (木) 第840号

発行所 福音新聞社 (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398 info@kccj.jp
発行人/ 梁栄友・編集人/ 鄭守煥
印刷所 青丘文化社

<2024年 日本基督教団・在日大韓基督教会 平和メッセージ>

日本基督教団 総会議長 雲然 俊美
在日大韓基督教会 総会長 梁 栄 友

「主よ、平和をわたしたちにお授けください。わたしたちのすべての業を 成し遂げてくださるのはあなたです。わたしたちの神なる主よ あなた以外の支配者が我らを支配しています。しかしわたしたちは あなたの御名だけを唱えます。」(イザヤ書 26章12節～13節)

涙も枯れるほどの恐怖が、いまもガザ地区を覆います。主イエスが、愛と平和と和解をもたらすためにこの世に遣わされ、愚かなわたしどものために十字架刑となった地において、多くの無辜の命が強大な軍事力によって弄ばれるように奪われています。「わたしたちの神なる主よ あなた以外の支配者が我らを支配しています」。それは同時に、わたしどものうちにある愚かさでもあります。

しかしわたしどもは、何度でも主イエスに立ち帰り「あなたの御名だけを唱えます」。そしてどうか「平和をわたしたちにお授けください」と悔い改めと共に深く祈り求め、ここに平和メッセージを宣言します。

<パレスチナにおける紛争について>

近代以降、植民地主義と資本主義による支配の根源が凝縮されたパレスチナにおいて、剥き出しの恐怖と残虐さが生々しく日々、私どもの前に、マスメディア、ソーシャルネットワーク等を通じて激しく突き出されています。こうしている今も、イスラエル軍は西側諸国の物理的・心理的援護を背景に、罪なきパレスチナ人を殺戮し、ガザ地区の人びとは昼夜問わず恐怖に包まれ、地獄を生きているのです。かつてホロコーストの地獄で命を奪われたユダヤ人、被差別民、障がい者たちの魂、同時に今、世界中の抑圧された人びとの魂もまた、おぞましいジェノサイドの中で、再び容赦なく踏み潰されています。

それでも同じ時にまた、世界中で、この紛争を終わらせようと多くの人びとが声を上げ、世界中のユダヤ教徒、キリスト教徒、イスラム教徒の人びともまた傷ついたパレスチナの人びとのために祈りを共にしています。わたしどもも、パレスチナに一刻も早く真の平和がもたらされるよう祈ります。

<日韓の歴史について>

1910年の朝鮮併合により日本の植民地とされた朝鮮半島から、日本の軍需工場や鉱山、炭鉱に労働力として強制連行された朝鮮人労働者を追悼する碑が日本各地に建立されています。その中で2024年1月29日、多くの市民の反対の声を無視し、群馬県知事は群馬県立公園「群馬の森」に建立された「記憶 反省 そして友好」と刻まれた朝鮮人労働者追悼碑の撤去

工事を開始しました。在特会を含めた右派系市民団体による誤った歴史宣伝を元に、強制連行などなかった等と歪められた歴史理解に行政、政府が同調し、日本各地で同様の事態が進んでいます。

日本基督教団と在日大韓基督教会は、このような誤りと悪意に満ちた日韓の歴史を継承するのではなく、朝鮮半島と日本、東北アジア全体の真の平和を愛と和解と調和の中で共に未来を目指し歩み続けます。

<アジアの平和について>

2023年度の向こう5年間の日本の防衛費は43兆円という空前の金額となりました。2022年にイギリス、イタリアと戦闘機開発を合意した結果、2024年3月には遂に第三国へ最新型戦闘機を輸出することを国会審議もせず決定してしまいました。日本は他国から眺めれば巨大な軍事国家を目指し、国際社会における平和の秩序を保つことを放棄するのではという懸念を、かつて日本が侵略した地域の人びとにもたらします。

また、台湾有事を見据えた中国への牽制としての米国軍事同盟の強化は、朝鮮半島と南西諸島を戦闘地域と想定しています。とりわけ沖縄では、2016年以降、米軍基地のみならず自衛隊基地の増強と新たな基地設置が続いており、そこに暮らす人びとの未来を脅かし、平和を遠ざけています。軍事で平和は守れません。わたしどもは繰り返し、何度でも訴え続けます。そして、日韓の市民とアジアの人びとと共に歩みます。

<原発依存からの脱却について>

東京電力福島第一原子力発電所から放射能汚染水海洋投棄が始まり、2024年度は54,700トンの汚染水が投棄される予定で、トリチウムの総量は約14兆ベクレルになると報道されています。

また、2024年1月1日に起きた能登半島地震では、震源地の近くに多くの原発があり、多くの人が第二の原発被害を思い浮かべました。幸いにも原発に被害はないとされましたが、避難経路に多くの課題があることが浮き彫りとなりました。

振り返れば、2011年の東京電力福島第一原発のメルトダウン・爆発により海洋に流れ出た、希釈されていない放射性液体廃棄物は、セシウム137で15,000兆ベクレルであり、年間管理目標値2,200億ベクレルの約7万年分です。この放射性物質は、いまも海洋を移動しています。地震の多い日本の国土において原発ほど命を脅かすものはなく、直ちに運転を停止させ、速やかに廃炉への作業に取りかからねばなりません。

わたしどもは、人間の力では制御できない原発に依存するエネルギー政策からの脱却を強く求めます。

2024年8月1日

西南地方会

夏季修養会を開催 —KCCJの存在理由を祈り求めて—

西南地方会恒例の夏季修養会が筑後川温泉・花景色ホテルで7月14日～15日、教育部、女性部主催で開かれた。コロナ禍で長年できなかった温泉付きの交わりと学びの祝祭となった。6教会、34名が参加した。

講師の金性済牧師は、私たちは在日2・3・4世、日本人、新一世信徒が集められ多様化の道を進んで「ブレンド教会」を形成しているのは、神の寄留者としての姿だと励ました。

また、KCCJの設立の経緯を語りながら、「やがて日本に來ざるを得ない植民地朝鮮半島の寄留者を迎えたいとの神の御業」と在日本朝鮮基督教会独自の総会が形成される際にはカナダ長老教会のLL.Young宣教師の奇しき宣教の歩みを紹介した。参加者は「ブレンド教会」が多民族多文化時代に寄留者の神のお招きであることを確かめる癒しと喜びの時となった。交流会は尽きることがない身の上話となり、互いを理解し合う至福の時となった。

(報告:教育部長 朱文洪)



関東女性会

献身礼拝を東京教会で開催 権初恵長老(船橋)の証し通し恵み受ける

2024年6月30日(主日)の午後、関東地方女性連合会による「献身礼拝」が東京教会において捧げられた。

関東地方会女性部部長の金根湜牧師(ハンサラン教会)による説教「連合・献身・礼拝」(レビ記1:3～9)の後、権初恵長老(船橋教会)の証しがあり、信仰の先輩の証しを伺い、出席者一同大いに恵まれた。

関東地方女性連合会が各教会の女性信徒を励まし、導くことができる組織として、常に低い姿勢で奉仕できるよう、聖霊のお導きとお守りを期待してお祈りする。

(報告:李銀珠)



関西韓国YM

創立50周年記念式開催 韓国民俗芸術科を設立し、小中学校に派遣

さる7月15日、関西韓国YMCA50周年記念式典が大阪教会で行われた。

関西韓国YMCAは1974年7月、大阪教会で開所礼拝を捧げた時からその歩みを始めた。

1973年にソウルYMCAは、在日同胞が最も多く住む関西地方に韓国YMCAを建設するという方針のもとに李處権牧師を大阪に派遣し、同牧師が当時の関西地方会とKCCの協力を得て財政基盤の確立と責任母体である理事会等の組織づくりに励み、開所にこぎつけた。

初代主事となった金秀男長老は、在日同胞の青少年が自身の出自に誇りを持って生きていくにはなによりも教育と文化活動が大事だとして、韓国民俗芸術科を設立し、そこで学んだ人が大阪市立小中学校の民族学級で講師として奉仕するなど、関西での民族教育に大きく貢献してきた。また1980年9月には大阪の玉造に会館を得、それを機会にこれらの活動を加速させてきた。これらの活動は今日にまで引き継がれてきている。

記念式典は、一部感謝礼拝、二部祝賀会の形式で行われた。

一部礼拝では、関西地方会の朴栄子牧師の祈禱、梁榮友総会長の「五つのパンと二匹の魚の奇跡」と題したメッセージによって導かれた。また、この礼拝には関西地方会聖歌隊連合会の特別讃美と、大阪教会の金由香勸士と呉多美執事のオルガンとピアノによる祝賀演奏があり、礼拝後には関西韓国YMCAの韓国民俗芸術科による演奏があり、参加者に多くの感動が与えられた。

二部祝賀会では、在日本韓国YMCA呉永錫理事長、ソウルYMCA金仁福理事長、日本YMCA同盟田口務総主事、大阪YMCA長谷川洋一副会長より祝辞があった。

関西韓国YMCA(代表理事:全聖三牧師)では1年前から創立50周年記念事業委員会(委員長:金鐘賢牧師)を立ち上げ、記念行事の準備を行ってきた。

この日は、ソウルYMCAの理事と職員、在日本韓国YMCAの理事、日本YMCA同盟と大阪YMCAの役員、関西韓国YMCAのプログラムに関わる人々、そして何よりも関西地方会と西部地方会から教役者と長老、信徒の方々の参加があり、今回記念式にはこれらのすべてが多岐の方々の協力の下に意義深く、無事に行うことができたことを感謝したい。

(報告:金成元長老)



韓日対照讃頌歌販売



韓国の新讃頌歌版です。交読文も韓日対照で掲載されています。

- B6版変型・1483ページ
- 価格:2,500円(消費税・送料込み)

※お求めは総会事務所へ

韓日対照聖書販売



各ページの左に韓国語(改革改正訳)、右に日本語(新共同訳)が掲載されています。

- A5版変型・1760ページ、革製
- 価格:4,000円(消費税・送料込)

※お求めは総会事務所へ

武庫川教会

林秉魯名誉長老が召天 2世長老として約20年間教会奉仕



去る2024年7月12日、武庫川教会の林秉魯名誉長老がこの世における生涯を終え、天に召された。96歳だった。

同日12日に前夜式が、翌日13日に告別式が梁榮友担任牧師の司式により武庫川教会にて執り行われた。

故・林秉魯名誉長老は、1927年在日韓国人2世として日本の大阪で生まれ、1946年4月に大阪教会にて朴命俊牧師より学習、同年11月に洗礼を受けた。

1975年に武庫川教会にて執事の任命を受け、1979年には長老として将立された。1998年隠退とともに名誉長老に推戴された。

関東女性会

新行事として「散策」行う 新宿御苑で交流会に18名が参加

関東地方教会女性連合会は2024年度会員の親睦と団結のため新たに行事を設けることにした。それを「散策」と名付けた。

5月16日(木)11時半に新宿御苑の前で4教会18人が集合した。初めての試みだったが、多くの方の参加に感謝したい。

温室を回り、みどりの中で皆さんが用意したお弁当を食べながら、楽しい時間を持った。食後にまたバラ園にも足を運び、2時半に解散した。

(報告:李銀珠)



大阪教会

創立103周年感謝礼拝開く 就任式や推戴式なども同時に

2024年5月12日、大阪教会創立103周年を迎える主日、教会学校学生たちとすべての信徒たちが礼拝堂に集って感謝の礼拝をささげた。

100周年記念行事がコロナウイルス感染事態によって2年も先延ばされた昨年に続き、創立記念主日礼拝をささげた。

鄭然元担任牧師は「苦難を越えて希望に進む教会」という題目の説教を述べ、皆、喜びで新しい時代を期約した。

午後3時に執り行われた任職式には、総会長梁榮友牧師の「忠誠の原則」という題目の説教に続き、第75回関西地方会定期総会において牧師按手を受けた韓宣榮牧師の副牧師就任式と伝道師認許を受けた鄭東鎬伝道師の就任式、姜恵子、宋承美勸士就任式、宋英姫、安姫子、朴眞淑名誉勸士、金英姫、曹譽戸、李漢柱名誉執事推戴式が執り行われた。

曾經総会長の金武士牧師の勸勉と関西地方会副会長の金鍾権牧師、全国教会女性連合会を代表して金錦順長老が祝辞を担当した。

今年の末、鄭然元担任牧師の引退を控えた時期で、良い次世代指導者が選任されることを期待する意味深い創立記念礼拝と任職式であった。

(報告:鄭然元)



在日大韓基督教会と日本基督教団との 協約締結40周年記念集会

2024年9月16日(月)

13:00~18:00

場所: 在日大韓基督教会 大阪教会

〒544-0032 大阪市生野区中川西2-5-11

申し込み: 2024年8月15日(水)

※詳細は各事務局に
お問合せ下さい

12:30 受付

13:00 記念礼拝

司会者: 申大永副総会長

説教者: 雲然俊美議長

聖餐式司式: 張慶泰副総会長、藤盛勇紀副議長

14:00 記念発題

司会者: 鄭守煥総幹事、網中彰子総幹事

在日韓国基督教会館名誉館長 李清一牧師

東京純心大学教授

佐野通夫氏

15:00 休憩 茶話会

16:00 ミニ発題 次世代による発題

17:30 閉会礼拝 司式者: 黒田若雄書記

説教者: 梁榮友総会長

特別寄稿

林秉魯名誉長老の思い出、父が主と共に歩んだ道

武庫川教会長老 林 英 宰

父、林秉魯名誉長老は7月12日早朝96歳で天に召され、私自身が主治医として看取りました。父が生前私に良く語っていたことを書き留めてみました。

父は、在日韓国人2世として大阪で生まれました。旧制中学時代は叔父を頼って東京におり、1945年3月の東京大空襲に出会いました。当時虎ノ門に住んでいたのですが、B29の焼夷弾による爆撃で辺りが火の海になり、下宿の2階から布団を抱いて飛び降りたそうです。みんなは坂の下に向かって逃げましたが、父は坂の上に向かって逃げました。

坂の上にはアメリカ総領事館があり、B29もそこは爆撃しないだろうと考えたのです。父は助かり、坂の下に逃げた人の多くは焼け死んだとのことでした。

間一髪で助かり大阪に帰ってきたところ、今度は大阪大空襲に遭遇しました。母の手を引いて炎の中を逃げ回りました。東京大空襲と大阪大空襲の両方を経験している稀な人間なのです。

焼け野原になった大阪の街をあてもなく歩いていた時に大阪教会の路傍伝道隊に出会い、信仰に導かれました。パンをくれるというのでついて行ったそうです。隠れて教会に通っていることが本家に知れ、勘当となりました。父の母と姉が教会に行くな、といくら殴っていさめても、その時だけは親孝行な父も言うことを聞かなかったそうです。主のなさることは不思議です。父の母と姉は父を守るために自分たちもクリスチャンになって本家から一緒に勘当されてしまいました。伯母は、その後大阪教会で信仰を全うしました。父は教会を通じて母と結婚しました。もし父が路傍伝道隊と出会っていなければ、母と出会うこともなく私達兄弟は生まれていなかったでしょう。伝道はいかなる時も尊いのです。人の一生を変えます。



1969年、両親と4兄弟

父の歩んで来た道を見ると、戦争のために青春を奪われ、交通事故の後遺症や大きな病気にいくつもかかり、苦しいの多い人生でした。

もし平和な世に生まれ、外国人ではなく自分の国で生まれていたら、きっと別の人生があったことでは



2013年、誕生日に家族が集合

う。しかしながら、主が与えて下さった人生が最良のものであったと私は信じます。苦しみの中で主と出会い、教会を通じて結婚もし、子供や孫・ひ孫にも恵まれました。最後は長老として信仰を全うすることができ、我が人生、主の前に悔いなしです。“お前の平和主義は、いざ難難の時には通じない。1と1を足して2で割るようなやり方は全く役に立たない”、と父から厳しくしかられ腹が立ったこともあります。今となっては良い思い出です。

“我らの国籍は天にあり”。また天国で再会できるという奥義が私達キリスト者には明らかにされているので、天に帰る父を笑顔で見送ることができました。きっと天国で先輩達から、“林秉魯長老、来るのがちょっと遅かったじゃないか”と、冷やかされていると思います。アーメン！

●KCCJ 2024年 教役者・長老修養会 (zoomによる) ●
主における私たちの可能性は？～教会学校の取り組みを中心に～
2024.10.14 (月・休) 午後1時～3時30分 (参加費無料)



©G. Rouault

一行は、妻子を別にして、壮年男子だけでおよそ六十万人であった。そのほか、種々雑多な人々もこれに加わった。
(出エジプト記12:38)

多様な実践のあり方に接し、信仰の継承の可能性の在り処を見出そう！

在日大韓基督教会は、小さな群れですが、「種々雑多な人々」が集うキリストのからだです。群れは、日本で生まれた在日コリアンや日本人と韓国や中国出身のコリアンなどで構成されています。さらには、韓国で生まれたけれど滞在歴が長くなっている人や、国際結婚で結ばれた家族もいます。牧師にも日本で按手を受けた人と、韓国の教団に所属し宣教師として来日した人がいます。話す言葉も主に日本語の人、主に韓国語の人、どちらも可能だけれど、母語は韓国語/日本語である人など、多様性の中身も実に多様です。

この修養会では、教勢が伸び悩む状況のなかで在日大韓基督教会という共同体の未来を確かなものにするために、それぞれ異なった実践をされている三人の方々をお招きしました。多様な私たちの群れが、さまざまな差異をのりこえて、主の中において一致し、豊かな共同体を構成していくためにはなにが必要なのかを考え、ともに共働してゆくきっかけを見つけてみませんか。

プログラム

- | | | |
|--------|-----------------------|-------------|
| 開会の祈り | 開会のあいさつ/目的と流れの説明 | 13:00～ |
| 1. 発題1 | 具滋佑牧師(東京希望キリスト教会) | 13:10～ |
| 2. 発題2 | 李重戴牧師(川西教会) | 13:30～ |
| 3. 発題3 | 朴栄子牧師(豊中復興第一教会) | 13:50～ |
| | 休憩 | |
| 4. | グループディスカッション+ふりかえり | 14:20～15:30 |
| 5. | 自由議論(残りたい人だけ残ってお話し合い) | 15:30～ |

*修養会はzoomで行われます。日本語/韓国語の通訳がきます。

人数把握のため、あらかじめ、右のQRコードが、所属教会・氏名をご記入の上、kimshinya0327@yahoo.co.jpにお申し込みください。



主催：在日大韓基督教会教育委員会

＜訂正とお詫び＞

福音新聞2024年7月号の日本語版の記事で「全国教会女性連合会第64回定期大会」の新委員の名簿が間違いました。訂正してお詫び申し上げます。正しい新任員は以下の通りです。

会長：宋福姫(名古屋)	副会長：崔美恵子(武庫川)
書記：高慶美(大阪)	副書記：李正子(名古屋)
会計：李敏禮(西新井)	副会計：金恵珍(川崎)
教育局長：李好子(小倉)	宣教社会局長：姜志鮮(大阪)
財政局長：李菜々(平野)	心のケア局長：尹豊子(神戸)
関東会長：李銀珠(横浜)	中部会長：金恩淑(豊橋)
関西会長：金仁姫(京都)	西部会長：梁律子(神戸)
西南会長：朴賢淑(福岡)	
会計監査：朴英遠(品川)、兪貞恵(武庫川)	
顧問：李炫知(神戸)	総務：石橋真理恵

＜お知らせ＞

●2024年8月13日(火)～16日(金)まで、総会事務局は夏季休暇のため業務をお休みします。